

令和 7 年定例会
予算決算常任委員会
政策企画雇用経済観光分科会
説明資料

◎ 議案補充説明

議案第 144 号 令和 7 年度三重県一般会計補正予算（第 4 号）

議案第 186 号 令和 7 年度三重県一般会計補正予算（第 6 号）

．．． 1

◎ 所管事項説明

令和 8 年度当初予算要求状況（観光部関係分）について

．．． 3

令和 7 年 12 月 10 日

観 光 部

◎議案補充説明

・議案第 144 号 令和 7 年度三重県一般会計補正予算（第 4 号）

○令和 7 年度三重県一般会計補正予算（第 4 号）総括表

（金額単位：千円）

区 分	補正前の額	補正額 (第 4 号)	補正後の額
一般会計	2,302,908	19,792	2,322,700
商工費	2,302,908	19,792	2,322,700

○令和 7 年度三重県一般会計補正予算（第 4 号）主な項目一覧

（金額単位：千円）

項 目	細事業名	補正前の額	補正額 (第 4 号)	補正後の額	説 明
商工業費	観光振興費				
	人件費	377,933	38,197	416,130	人件費の精査に伴う増額
	観光客受入環境整備事業費	647,577	▲19,076	628,501	事業実績見込額精査に伴う減額

○債務負担行為（一般会計第 4 号関係）

（追加）

（金額単位：千円）

事 項	期 間	限 度 額
県営サンアリーナ仮設音響設備設置に係る契約	令和 8 年度	1,177
県営サンアリーナ内の県内産間伐材使用ベンチ使用に係る契約	令和 7 年度～令和 8 年度	144
三重県観光統計データの運用保守に係る契約	令和 7 年度～令和 8 年度	2,600
みえ観光人材みらい NAVI の運用保守に係る契約	令和 7 年度～令和 8 年度	2,000
みえ観光人材みらい NAVI のレンタルサーバ利用に係る契約	令和 7 年度～令和 8 年度	64

・議案第 186 号 令和 7 年度三重県一般会計補正予算（第 6 号）

○令和 7 年度三重県一般会計補正予算（第 6 号）総括表

（金額単位：千円）

区 分	補正前の額	補正額 （第 6 号）	補正後の額
一般会計	2, 322, 700	13, 200	2, 335, 900
商工費	2, 322, 700	13, 200	2, 335, 900

○令和 7 年度三重県一般会計補正予算（第 6 号）項目一覧

（金額単位：千円）

項 目	細事業名	補正前の額	補正額 （第 6 号）	補正後の額	説 明
商工業費	観光振興費				
	人件費	416, 130	11, 878	428, 008	人事委員会勧告に基づく給与改定による増額
	観光総務費	55, 403	906	56, 309	人事委員会勧告に基づく給与改定に伴う会計年度任用職員の報酬及び期末勤勉手当の支給月数の改定による増額
	海外プロモーション推進事業費	27, 738	416	28, 154	人事委員会勧告に基づく給与改定に伴う会計年度任用職員の報酬及び期末勤勉手当の支給月数の改定による増額

◎ 所管事項説明

令和 8 年度当初予算要求状況

「みえ元気プラン」取組概要

(観光部抜粋版)

令和 7 年 12 月

三 重 県

施策5-1 持続可能な観光地づくり

(主担当部局：観光部)

施策の目標

(めざす姿)

魅力ある地域資源を生かした観光コンテンツの提供や、質の高い宿泊施設等の受入れ環境整備など、旅行者のニーズに対応した受入れ体制が整備されることで、三重県を訪れた人びとが観光を満喫でき、観光客の満足度が向上するとともに、平均宿泊日数が増加しています。

また、地域住民をはじめ、地域全体で旅行者の受入れ機運を高め、三重県の持続可能な観光が推進されることで、三重県を訪れた旅行者がより深く観光コンテンツを体験でき、長期滞在が増加するなど、三重県の「拠点滞在型観光」のイメージが定着しています。

1. 基本事業の取組状況

基本事業名

令和7年度の主な取組

① 拠点滞在型観光の推進

・歴史・文化や自然、食等の三重ならではの観光資源を生かした拠点滞在型観光をさらに推進するため、地域DMO等による滞在型の観光コンテンツの磨き上げや提供・販売体制の構築、プロモーション、地域ブランディングに向けた取組を支援しています(8団体)。また、ガストロノミーツーリズムの推進に向けて、意欲ある事業者や団体等と連携し、三重の食や食文化の魅力発信に取り組んでいます。

② DMO(観光地域づくり法人)等の支援

・全県DMOである(公社)三重県観光連盟が観光地経営の司令塔としての役割を担うことができるよう、インバウンド向けマーケティングや地域DMOへの支援のほか、データマーケティングや国内向けプロモーションを着実に実施するための基盤強化を図ります。

③ 受入環境の整備

・国内外の旅行者が快適に滞在できる環境を整えるため、宿泊施設の和洋室化やトイレの洋式化、バリアフリー化等の取組、熊野古道伊勢路沿線のトイレの環境整備を支援しています(採択件数:52件)。
・外国クルーズ船のさらなる誘致に向け、寄港地のPRや周遊促進、誘致・受入れ体制の強化に関係機関と連携して取り組んでいます。また、上質な宿泊施設の新規立地に向け、開発事業者の視察対応など誘致活動に取り組んでいます。
・誰もが三重の観光を楽しむことができるバリアフリー観光を推進するため、伊勢志摩バリアフリーツアーセンターと連携し、宿泊施設・観光施設に対するパーソナルバリアフリー基準による調査・アドバイスや「観光施設における心のバリアフリー認定」の取得促進、旅行会社や交通事業者との連携強化等に取り組んでいます。

④ 観光人材の育成

・魅力的な観光産業の確立のため、経営課題の解決に向けたコンサルティング等の実施を通じて、観光事業者の生産性向上や人材確保・育成・定着に向けた取組を支援しているほか、県内観光産業の魅力について情報発信に取り組んでいます(支援事業者数:延べ22者【令和7年10月31日現在】)。
・高付加価値旅行者の多様なニーズに対応するため、観光ガイド人材の確保・育成に向けた養成プログラムを実施するとともに、旅行会社や宿泊施設等とのマッチング会の実施など活躍機会の創出に取り組んでいます。

： 2. KPI（重要業績評価指標）の状況

KPIの項目						関連する基本事業	
令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		8年度	7年度
現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	の評価
観光客満足度						①②③④	
—	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	—	95.0%	—
93.5%	94.4%	95.7%	95.8%	—	—	—	—
県内の平均宿泊日数						①②③④	
—	1.19泊	1.23泊	1.26泊	1.30泊	—	1.33泊	—
1.20泊	1.23泊	1.23泊	1.21泊	—	—	—	—
リピート意向率						①②③④	
—	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	—	95.0%	—
92.6%	93.2%	93.3%	95.1%	—	—	—	—

3. 令和8年度の課題と取組方向

基本事業名
・令和8年度以降に残された課題と対応

① 拠点滞在型観光の推進

・旅行者の滞在・周遊性を高めるため、歴史・文化、食、自然(癒し)等の三重ならではの観光資源を生かし、広域のブランディングやストーリー性のある高付加価値商品の造成に取り組むとともに、ガストロノミーツーリズムを推進します。

② DMO(観光地域づくり法人)等の支援

・全県DMOである(公社)三重県観光連盟が観光地経営の司令塔として、地域DMOを支援する等の役割を担うことができるよう、引き続き基盤強化を図ります。

③ 受入環境の整備

・国内外の旅行者が安全・安心かつ快適に滞在できる環境を整えるため、多言語案内表示の充実や観光防災・危機対応に係る施設改修など観光インフラの整備を支援します。
・高付加価値旅行者のニーズを満たす上質な宿泊施設の立地に向け、開発事業者の視察対応など誘致活動に取り組めます。
・外国クルーズ船のさらなる誘致に向け、関係機関と連携しながら、クルーズ船に特化した商談会出展等に取り組むとともに、周遊促進や受入体制の強化を図ります。
・バリアフリー観光を一層推進するため、伊勢志摩バリアフリーツアーセンターと連携し、「観光施設における心のバリアフリー認定」取得促進に取り組むとともに、旅行会社や交通事業者と連携し、旅行商品化に向けた取組を推進します。
・インバウンドが災害時においても適切に行動できるよう、多言語での啓発に取り組むとともに、宿泊施設や観光施設等を対象に、観光地において災害が発生した場合の適切な対応や災害への備えに関するセミナーを開催します。

④ 観光人材の育成

・観光事業者が抱える生産性の低さや人材不足の課題解決に向け、個別コンサルティング等を通じて、生産性向上や人材確保の取組を引き続き支援するとともに、人手・人材不足等により生産性向上等に取り組む環境にない事業者を対象に、収益や経営に直結する業務に集中できる環境を整えることを通じて、生産性向上等の取組が促進されるよう支援します。
・高付加価値旅行者の多様なニーズに対応できる観光ガイド人材の確保・育成に向け、養成プログラムの実施や活躍機会の創出に取り組めます。

4. 主な事業

《（１）拠点滞在型観光の推進》

①（一部新）拠点滞在型観光推進事業

（第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費）

予算額：（R7） 37,026千円 → （R8） 63,529千円

事業概要：三重ならではの観光資源を生かした滞在型周遊観光の推進に向け、お伊勢参りの歴史・文化をふまえた広域のブランディングや歴史街道、伊勢西国三十三所観音巡礼、庭園等の観光資源を組み合わせた周遊ルートの造成に取り組むとともに、ガストロノミーツーリズムの推進に向けたコンテンツの磨き上げや魅力発信に取り組めます。

《（２）DMO（観光地域づくり法人）等の支援》

①（一部新）全県 DMO 経営基盤強化事業

（第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費）

予算額：（R7） 203,305千円 → （R8） 222,505千円

事業概要：全県DMOである（公社）三重県観光連盟が観光地経営の司令塔としての役割を担うため、国内外向けプロモーションや地域DMOへの支援、データマーケティングを着実に実施できるよう基盤強化を図ります。

《（３）受入環境の整備》

①（一部新）観光客受入環境整備事業

（第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費）

予算額：（R7） 647,577 千円 → （R8） 581,661 千円

事業概要：国内外の旅行者が安全・安心かつ快適に滞在できる環境を整えるため、宿泊施設や観光施設の外国語案内表示の充実、バリアフリー化、避難誘導表示等の観光防災・危機対応に関する整備、熊野古道伊勢路沿線のトイレの環境整備等を支援するとともに、バリアフリー観光の推進や高付加価値旅行者の多様なニーズに対応できる観光ガイド人材の育成、上質な宿泊施設の誘致、外国クルーズ船の誘致・受入体制強化に取り組めます。

②（一部新）安心・安全な観光地づくり事業

（第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費）

予算額：（R7） 4,733 千円 → （R8） 5,000 千円

事業概要：旅行者に安心・安全な観光地として選ばれるため、インバウンド向けに災害時の対応や情報収集の方法等を啓発するとともに、観光事業者を対象に、災害時のインバウンドへの適切な対応や災害への備え等に関するセミナーを実施します。

《（４）観光人材の育成》

①（一部新）観光産業支援事業

（第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費）

予算額：（R7） 41,991 千円 → （R8） 41,956千円

事業概要：観光事業者が抱える生産性の低さや人材不足の課題解決に向け、個別コンサルティングやワークショップを通じて生産性向上や人材確保の取組を支援します。また、人手・人材不足等により生産性向上等に取り組む環境にない事業者を対象に、採用・経理・労務などの業務の外注化（アウトソーシング）を支援し、収益や経営に直結する業務に集中できる環境を整えることで、生産性向上等の取組を促進します。

施策5-2 戦略的な観光誘客

(主担当部局：観光部)

施策の目標

(めざす姿)

国内外の多くの旅行者が観光の目的地として三重県を選び、県内の観光消費額が増加しています。また、旅行者データや観光統計に基づく観光マーケティング・マネジメントを行い、旅行ニーズに合わせた戦略的な観光プロモーションを展開することで、三重県ファンが増加するとともに、国内外から三重県への来訪や宿泊が増加しています。

1. 基本事業の取組状況

基本事業名

令和7年度の主な取組

① 観光マーケティングの推進

- ・データに基づいた観光マーケティングを推進するため、旅行者の属性や出発地、県内での立ち寄り場所等のデータ取得・収集や観光客実態調査、県内宿泊事業者に対するインバウンド受入状況調査等に取り組んでいます。
- ・地域におけるデータを分析・活用する能力向上を支援するため、市町・DMO・観光協会を対象に、データに基づいた観光マーケティングに関する研修を実施しています(開催回数:2回、延べ参加団体数:15者【令和7年10月31日現在】)。

② 観光プロモーションの強化

- ・首都圏等大都市圏からの誘客促進に向け、メディアや旅行事業者等を対象とした観光情報説明会やSNS、各種広告等さまざまな手段を組み合わせることにより、効果的に三重の魅力を発信し、本県の認知度向上に取り組んでいます(令和7年7月19日に観光情報説明会を開催201名参加、交通広告:JR 東京駅、阪急大阪梅田駅の2か所)。
- ・大阪・関西万博を契機とした誘客促進に向け、交通事業者との連携による企画きっぷや万博と三重県をあわせて周遊できる旅行商品のプロモーション、万博来場者を本県への来訪につなげるための観光キャンペーンに取り組んでいます(観光キャンペーン申込者数(三重県来訪者数):3,580人【令和7年10月31日現在】)。
- ・県内への誘客や周遊を促進するため、株式会社ポケモンとの包括連携協定を活用し、県内市町や交通事業者等と連携したスタンプラリー等の取組を実施しています(スタンプラリー賞品応募者数:2,364人【令和7年10月31日現在】)。
- ・平日の観光需要喚起を図るため、体験コンテンツの利用促進や高速道路を利用した周遊促進に向け、平日を対象としたキャンペーン等を実施しています。また、県外からの教育旅行の誘致に向けた目的地としての魅力のPRに取り組んでいます(体験コンテンツ利用者数:5,968人、ドライブプラン利用件数:2,126件【令和7年10月31日現在】)。

③ インバウンドの誘客

- ・海外からの高付加価値旅行者の誘致を促進するため、奈良県、和歌山県等と連携し、紀伊半島のブランド化を図るとともに、商談会への参加や旅行会社、メディアを対象としたファムトリップの実施等に取り組んでいます。また、引き続きフランスにレップ(営業代理人)を設置し、旅行会社との連携強化を通じて、福利厚生旅行の誘致に向けたプロモーションを実施しています。
- ・海外からの企業の報奨旅行・研修視察旅行の増加につなげるため、三重県産業観光推進協議会によるプロモーション等の活動を支援しています。また、三重県海外MICE誘致促進補助金の対象に海外企業の会議と報奨旅行を追加するとともに、レップの設置や商談会参加等を通じて、引き続きMICE誘致に取り組んでいます。
- ・ゴールデンルート等を周遊する旅行者や大阪・関西万博への来訪者を県内に誘客するため、海外OTAを活用した広告配信をはじめとする情報発信や、県内の宿泊施設及び体験コンテンツの海外OTAへの登録・活用を促進するとともに、EXPO2025関西観光推進協議会と連携した

取組等を実施しています。また、中部圏の近隣自治体と連携した広域でのプロモーションに取り組んでいます。

- ・効果的なインバウンド誘客の取組を進めるため、官民連携組織である(公社)三重県観光連盟が取り組むインバウンド向けプロモーションを支援しています。
- ・観光誘客に重点的に取り組む市場において、本県の認知度や関心の向上を図るため、観光・物産・食が一体となったプロモーションに取り組んでいます。
- ・インバウンド誘客を強力に展開するため、「みえインバウンド誘客計画(仮称)」の策定に取り組んでいます。

2. KPI (重要業績評価指標) の状況

KPIの項目						関連する基本事業	
令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		8年度	7年度の評価
現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	
観光消費額						①②③	
—	4,950 億円	5,250 億円	5,560 億円	6,000 億円	—	6,500 億円	—
3,562 億円	4,269 億円	4,882 億円	5,236 億円	—	—	—	—
県内の延べ宿泊者数						①②③	
—	766 万人	812 万人	860 万人	946 万人	—	1,041 万人	—
518 万人	688 万人	734 万人	837 万人	—	—	—	—
県内の外国人延べ宿泊者数						①②③	
—	34.6 万人	36.7 万人	38.9 万人	42.0 万人	—	45.4 万人	—
1.7 万人	4.9 万人	20.1 万人	24.1 万人	—	—	—	—

3. 令和8年度の課題と取組方向

基本事業名

令和8年度以降に残された課題と対応

① 観光マーケティングの推進

- ・旅行者の行動実態や県内宿泊施設の受入れ状況等の調査を実施するとともに、データに基づいた次期三重県観光振興基本計画を策定します。
- ・地域におけるデータ分析・活用を支援するため、「三重県観光統計データ」サイトにおいて、取得・収集した国内外の旅行者等の観光データを市町・DMO・観光協会が活用しやすい形で提供します。

② 観光プロモーションの強化

- ・首都圏等大都市圏からの誘客促進に向け、SNSやテレビ等のメディアを通じた情報発信、観光情報説明会など、多様な手段を活用することにより、効果的に三重の魅力を発信するとともに、次期式年遷宮を契機に三重県への関心を高めてもらうため、お木曳行事を題材とした観光プロモーションに取り組みます。
- ・県内への誘客・周遊を促進するため、株式会社ポケモンとの包括連携協定を活用し、県内市町や交通事業者等と連携したプロモーションを実施します。また、県外からの教育旅行の誘致に向けた目的地としての魅力のPR等に取り組みます。

③ インバウンドの誘客

- ・本県の認知度向上を図るため、インバウンドが関心を寄せる体験コンテンツ等を紹介する動画等の作成や、トップインフルエンサーの発信力を活用した情報発信、航空事業者と連携したプロ

モーション等に取り組みます。

- ・インバウンド誘客に重点的に取り組む市場における本県の認知度向上を図るため、観光・食・物産が一体となったプロモーションを行うとともに、現地旅行会社、ランドオペレーターを対象としたセミナー・商談会、ファムトリップ等による BtoB プロモーションを実施し、ツアーの造成及び流通拡大等を図ります。
- ・ゴールデンルート及び関西圏からの誘客を図るため、鉄道事業者と連携したプロモーションを実施するとともに、引き続き海外 OTA を活用した情報発信等に取り組みます。
- ・高付加価値旅行者の誘客を図るため、重点的に取り組む市場におけるプロモーションを実施するとともに、引き続き欧州におけるレップの設置やフランス企業等の福利厚生旅行の誘致に取り組みます。
- ・県内経済への波及効果が高い国際会議をはじめとする MICE や海外企業による研修・視察旅行の誘致に取り組みます。

4. 主な事業

《（１）観光マーケティングの推進》

① （一部新）観光データ調査事業

（第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費）

予算額：(R7) 58,290 千円 → (R8) 69,561 千円

事業概要：観光マーケティングを推進するため、県内宿泊施設の受入れ状況や国内外の旅行者の属性、出発地、県内での立ち寄り場所等のデータを取得・収集するとともに、データに基づいた次期三重県観光振興基本計画を策定します。また、地域におけるデータ分析・活用を支援するため、取得・収集した観光データを「三重県観光統計データ」サイトにおいて提供します。

《（２）観光プロモーションの強化》

① （一部新）大都市圏プロモーション事業

（第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費）

予算額：(R7) 122,702 千円 → (R8) 179,574 千円

事業概要：首都圏や関西圏等大都市圏からの誘客促進に向け、SNS やテレビ等のメディアを通じた情報発信、観光情報説明会など、多様な手段を活用することにより、効果的に三重の魅力を発信します。また、次期式年遷宮を契機に三重県への関心を高めてもらうため、お木曳行事を題材にした観光プロモーションに取り組みます。

② 県内周遊促進事業

（第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費）

予算額：(R7) 130,513 千円 → (R8) 67,589 千円

事業概要：県内への誘客及び周遊を促進するため、「ポケモンローカル Acts」の取組を活用したキャンペーンや映画・ドラマ等のロケ地情報のプロモーション等に、市町や交通事業者等の関係機関と連携して取り組みます。また、平日の観光需要喚起や県内への再訪が見込める将来のリピーター獲得につなげるため、県外からの教育旅行の誘致に向けた目的地としての魅力の PR 等に取り組みます。

《（３）インバウンドの誘客》

①（一部新）海外誘客推進プロジェクト事業

（第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費）

予算額：（R7）108,246 千円 → （R8）120,174 千円

事業概要：本県の認知度向上を図るため、インバウンドが関心を寄せる体験コンテンツ等を動画でわかりやすく情報発信するとともに、トップインフルエンサーの発信力を活用した情報発信や航空事業者と連携したプロモーションに取り組みます。また、観光誘客に重点的に取り組む市場において、観光・食・物産が一体となったプロモーションや現地旅行会社、ランドオペレーターを対象としたセミナー・商談会、ファムトリップ等による BtoB プロモーションに取り組みます。

②（一部新）プラス三重旅促進事業

（第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費）

予算額：（R7）18,042 千円 → （R8）40,000 千円

事業概要：ゴールデンルート及び関西圏を周遊するインバウンドを県内へ誘客するため、鉄道事業者と連携したプロモーションに取り組むとともに、海外OTAを活用した情報発信やJNTOと連携した情報発信に取り組みます。また、F1日本グランプリに来訪するインバウンドを対象に、県内周遊を促進するプロモーションに取り組みます。

③（一部新）高付加価値旅行者層誘致促進事業

（第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費）

予算額：（R7）65,291 千円 → （R8）115,400 千円

事業概要：高付加価値旅行者の誘客を図るため、重点的に取り組む市場におけるプロモーションに取り組むとともに、引き続き欧州に設置するレップによるセールスやフランス企業等の福利厚生旅行の誘致に向けた観光セミナー、ファムトリップ等に取り組みます。また、奈良県、和歌山県と連携し、紀伊半島における高付加価値旅行者の誘客に取り組みます。

④ 海外 MICE 誘致促進事業

（第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費）

予算額：（R7）34,075 千円 → （R8）31,517 千円

事業概要：県内経済への波及効果が高い国際会議をはじめとしたMICEを誘致するため、レップによるセールスやセミナー、MICE主催者等を対象としたファムトリップに取り組むとともに、市町等と連携し、商談会への出展や誘致推進体制の整備等に取り組みます。

令和8年度 観光部関係当初予算要求状況総括表

単位: 千円

区 分	令和7年度 当初予算額 (A)	令和8年度 当初予算要求額 (B)	前年度 比較増減 (B-A)	B/A
一般会計	2,302,908	2,483,484	180,576	107.8%
商工費	2,302,908	2,483,484	180,576	107.8%

令和8年度新規事業一覧（一般会計）（観光部関係）

各記号の意味は、以下のとおりです。

「※」 …一部新規を含むもの（事業費は新規分のみを計上）

「☆」 …市町予算と関係があると考えられるもの

「◆」 …令和8年度重点施策枠のもの（継続分は除く）

「◎」 …業務効率化枠をふまえたもの

「□」 …県民提案をふまえたもの

（単位：千円）

番号	部 局 名	施策	細 事 業 名 称	事業概要（新規・一部新規の事業部分のみ）	事 業 費	一部 新規	市 町 関 連	重 点 施 策	業 務 効 率 化	県 民 提 案
1	観光部	5-1	拠点滞在型観光推進事業費	歴史・文化、食、自然(癒し)など三重ならではの観光資源を生かし、広域のブランディングやストーリー性のある高付加価値商品の造成に取り組み、旅行者の滞在・周遊性を高めるとともに、ガストロノミーツーリズムを推進します。	59,884	※		◆		
2	観光部	5-1	全県DMO経営基盤強化事業費	DMO登録要件の改正に対応できるよう地域DMO支援を強化するとともに、アジア市場からのインバウンド誘客を促進するため、(公社)三重県観光連盟の体制整備やプロモーション業務の取組を支援します。	47,474	※		◆		
3	観光部	5-1	観光客受入環境整備事業費	国内外の旅行者が安全・安心かつ快適に滞在できる環境を整えるため、宿泊施設や観光施設のインバウンド対応、ユニバーサルツーリズム対応に加え、観光防災・危機対応に関する整備を支援します。	70,000	※		◆		
4	観光部	5-1	安心・安全な観光地づくり事業費	旅行者に安心・安全な観光地として選ばれるため、インバウンド向けに災害時の対応や情報収集の方法等を啓発します。	3,800	※		◆		
5	観光部	5-1	観光産業支援事業費	人手・人材不足等により生産性向上等に取り組む環境にない事業者への対応として、採用・経理・労務などの業務の外注化（アウトソーシング）を支援し、収益や経営に直結する業務に集中できる環境を整えることで、生産性向上等の取組を促進します。	14,170	※		◆		
6	観光部	5-2	観光データ調査事業費	観光マーケティングを推進するため、国外の旅行者についての属性、出発地、県内での立ち寄り場所等のデータを取得・収集するとともに、データに基づいた次期三重県観光振興基本計画を策定します。	27,260	※				
7	観光部	5-2	大都市圏プロモーション事業費	次期式年遷宮を契機に三重県への関心を高めてもらうため、お木曳行事を題材にした観光プロモーションを実施します。	47,210	※		◆		
8	観光部	5-2	海外誘客推進プロジェクト事業費	本県の認知度向上を図るため、インバウンドが関心を寄せる体験コンテンツ等を動画でわかりやすく情報発信するとともに、トップインフルエンサーの発信力を活用した情報発信や航空事業者と連携したプロモーションに取り組みます。	55,000	※		◆		
9	観光部	5-2	プラス三重旅促進事業費	ゴールデンルート及び関西圏を周遊するインバウンドを県内へ誘客するため、鉄道事業者と連携したプロモーションに取り組みます。	10,000	※		◆		
10	観光部	5-2	高付加価値旅行者層誘致促進事業費	高付加価値旅行者を誘致するため、重点的に取り組む市場において現地レップを設置し、セールスや観光セミナー、ファムトリップ、情報発信に取り組みます。	40,002	※		◆		
11	観光部	5-2	産業観光推進事業費	産業観光のPR動画作成やゴールデンルートからの誘客を促進する広域的な取組、産業観光を活用した教育旅行に取り組むとともに、令和7年度の韓国訪問のフォローアップに取り組むことで、韓国からの誘客促進に繋がります。	4,253	※		◆		
観光部 計					379,053					

令和8年度重点施策枠事業一覧表(観光部)

(2)未来を拓く

②観光振興と三重の魅力のプロモーション

(単位:千円)

部局名	施策	細事業名	事業概要	事業費
観光部	5-1	拠点滞在型観光推進事業費	歴史・文化、食、自然(癒し)など三重ならではの観光資源を生かし、広域のブランディングやストーリー性のある高付加価値商品の造成に取り組み、旅行者の滞在・周遊性を高めるとともに、ガストロノミー・ツーリズムを推進します。	45,436
観光部	5-1	全県DMO経営基盤強化事業費	アジア市場からのインバウンド誘客を促進するため、(公社)三重県観光連盟の体制整備やプロモーション業務の取組を支援します。	93,142
観光部	5-1	観光客受入環境整備事業費	国内外の旅行者が安全・安心かつ快適に滞在できる環境を整えるため、宿泊施設や観光施設の整備を支援するとともに、バリアフリー観光の推進や上質な宿泊施設の誘致に取り組みます。	19,920
観光部	5-1	安心・安全な観光地づくり事業費	旅行者に安心・安全な観光地として選ばれるため、インバウンド向けに災害時の対応や情報収集の方法等を啓発するとともに、観光事業者を対象に、災害時のインバウンドへの適切な対応や災害への備え等に関するセミナーを実施します。	5,000
観光部	5-1	観光産業支援事業費	観光事業者が抱える生産性の低さや人材不足の課題解決に向け、個別コンサルティングやワークショップを通じて生産性向上や人材確保の取組を支援します。また、人手・人材不足等により生産性向上等に取り組む環境にない事業者を対象に、採用・経理・労務などの業務の外注化(アウトソーシング)を支援し、収益や経営に直結する業務に集中できる環境を整えることで、生産性向上等の取組を促進します。	41,956
観光部	5-2	観光データ調査事業費	観光マーケティングを推進するため、県内宿泊施設についての受入状況や国外の旅行者についての属性、出発地、県内での立ち寄り場所等のデータを取得・収集します。また、地域におけるデータ分析・活用を支援するため、取得・収集した観光データを「三重県観光統計データ」サイトにおいて提供します。	26,100
観光部	5-2	大都市圏プロモーション事業費	首都圏や関西圏等大都市圏からの誘客促進に向け、SNSやテレビ等のメディアを通じた情報発信、観光情報説明会など、多様な手段を活用することにより、効果的に三重の魅力を発信します。また、次期式年遷宮を契機に三重県への関心を高めてもらうため、お木曳行事を題材にした観光プロモーションに取り組みます。	139,402
観光部	5-2	県内周遊促進事業費	県内への誘客及び周遊を促進するため、映画・ドラマ等のロケ地情報のプロモーション等に関係機関と連携して取り組みます。また、平日の観光需要喚起や県内への再訪が見込める将来のリピーター獲得につなげるため、県外からの教育旅行の誘致に向けた目的地としての魅力のPR等に取り組みます。	19,604
観光部	5-2	海外誘客推進プロジェクト事業費	本県の認知度向上を図るため、インバウンドが関心を寄せる体験コンテンツ等を動画でわかりやすく情報発信するとともに、トップインフルエンサーの発信力を活用した情報発信や航空事業者と連携したプロモーションに取り組みます。また、観光誘客に重点的に取り組む市場において、観光・食・物産が一体となったプロモーションや現地旅行会社、ランドオペレーターを対象としたセミナー・商談会、ファミトリップ等によるBtoBプロモーションに取り組みます。	116,000
観光部	5-2	プラス三重旅促進事業費	ゴールデンルート及び関西圏を周遊するインバウンドを県内へ誘客するため、鉄道事業者と連携したプロモーションに取り組むとともに、海外OTAを活用した情報発信やJNTOと連携した情報発信に取り組みます。また、F1日本グランプリに訪訪するインバウンドを対象に、県内周遊を促進するプロモーションに取り組みます。	40,000
観光部	5-2	高付加価値旅行者層誘致促進事業費	高付加価値旅行者の誘客を図るため、重点的に取り組む市場におけるプロモーションに取り組むとともに、引き続き欧州に設置するレップによるセールスやフランス企業等の福利厚生旅行の誘致に向けた観光セミナー、ファミトリップ等に取り組みます。また、奈良県、和歌山県等と連携し、紀伊半島における高付加価値旅行者の誘客に取り組みます。	104,477
観光部	5-2	海外MICE誘致促進事業費	県内経済への波及効果が高い国際会議をはじめとしたMICEを誘致するため、市町等と連携し、商談会への出展や誘致推進体制の整備等に取り組みます。	11,200
観光部	5-2	産業観光推進事業費	ものづくり企業などの技術や経営思想、伝統を次世代につなぐ継承文化などを新たな観光資源とする産業観光を推進するため、令和7年度に行われた韓国訪問のフォローアップに取り組むことで、韓国からの誘客促進に繋がります。	2,900
小 計				665,137

令和8年度大規模臨時的経費事業一覧(観光部関係)

(単位:千円)

番号	部局名	細事業名	事業費
Ⅰ ア 法令義務・債務負担行為			
	観光部	県営サンアリーナ環境整備費(県営サンアリーナの施設・設備等の修繕・更新)	6,621
Ⅰ ア 法令義務・債務負担行為 計			6,621
Ⅰ イ 施設改修			
	観光部	県営サンアリーナ環境整備費(県営サンアリーナの施設・設備等の修繕・更新)	187,076
Ⅰ イ 施設改修 計			187,076
Ⅲ ア その他(継続)			
	観光部	観光総務費(朝熊山公衆トイレ取り壊し)	27,170
	観光部	観光客受入環境整備事業費(インバウンド・ユニバーサルツーリズム・観光防災推進補助事業)	539,280
Ⅲ ア その他(継続) 計			566,450
Ⅲ イ その他(新規)			
	観光部	観光データ調査事業費(次期三重県観光振興基本計画の策定)	20,000
Ⅲ イ その他(新規) 計			20,000
合計			780,147

○参考「大規模臨時的経費として要求する事業の分類区分」

Ⅰ 義務的度合いが高いもの

- ア 法令で義務づけられた経費、及び債務負担行為が設定済みかつ契約済みの経費
- イ ア以外で、県有施設の老朽化等に伴う大規模改修・修繕工事にかかる経費

Ⅱ Ⅰより義務的度合いは低い、客観的な基準により真にやむを得ないと判断できるもの
情報システムにかかる保守期限の到来等に伴う改修経費

Ⅲ その他の事業

- ア 継続事業
- イ 新規事業

事業の見直し調書（観光部関係）

（注）調書の各記号の意味は、以下のとおりです。

「◇」…令和7年度重点施策枠のもの

「□」…令和8年度重点施策枠のもの

「◎」…市町予算と関係があると考えられるもの

「▲」…いわゆる「当然減」によるもの

「△」…リフォーム事業のうちリフォームにより細事業本数が減少するもの

（単位：千円）

◇□◎▲△ 番号	細事業名	区 分			令和7年度	令和8年度	差 引	説 明	部局名
		廃止	リ フ ォ ー ム	休止	当初予算額A	当初要求額B	B－A		
◇ □ △ 32	県内周遊促進事業費 （旧 観光誘客促進事業費） （旧 観光需要平準化促進事業費）		1		130,513	67,589	-62,924	事業をより効率的に実施するため、観光誘客促進事業費と観光需要平準化促進事業費を統合します。	観光部
	合 計	0	1	0	130,513	67,589	-62,924		